



刊夕 日六月二

磐城訓盲院の榮譽 盲教育の研究課題

全國百余校から六校の撰拔 提出題「灸術教授に就て」

盲教育に優秀なる成績を上げ、校に開辦される研究發表會にてある平市の磐城訓盲院は例年帝國盲教育會に於て同教育の向上を圖るため全國の百餘校から撰集してゐる研究課題の本年の應募に同會の嚴密の結果撰拔された旨、去る三日通知されたが右は全國に於て磐城訓盲院のほか、鹿兒島新潟、愛知、神戸、島根の各縣立五校に止まり同訓盲院提出の研究課題は大塚喜一郎教授によつて成る「盲學校に於ける灸術教授に就て」であつて同氏をはじめ同院の職員一同は此の撰拔の榮譽に異常の歡喜をもつて本年夏季(七月中旬)群馬縣立前橋盲學校

植田武徳會の寒稽古納會試合

植田武徳會内武徳會支部主催の寒稽古納會と武徳大會は四日植田町小學校に於て行はれた高點試合の優勝者左記の如し
▲柔道 一等富岡國江、二等赤津義信、三等鈴木昭▲劍道五人抜き村上正義、宮澤正澄、星康夫、中村清、山添軍一、澤田昇、古川金之助(以上)

是では薄い譯だ 酒精九パーセント

其れを二圓卅錢で賣つて

平野が管内の不正商人が極端にタマを入れた水の様な酒を賣りつゝあるに對し酒店及び料理店その他の在品を押しつけて警告を發せざるは既報の如く三十餘種の右押收酒を平稅務署に託し分析の結果は普通二〇パーセントの酒精を含むべき筈のところ一乃至一二パーセントの酒精に落し甚だしきは一〇%以下九パーセン

警部考査備試驗の合格者

警部考査備試驗は去る一日施行二十二名の合格者を發表さ

支那單語

しかしながらと云ふことは然るでランブル、けれどもと云つた様な場合を雖然でスイランイカには如何でルウホ、もしと云ふことは若しでルオシー、要する場合はヤオシーと云

五十萬圓弱は 四十五萬圓の誤

昨報「出來た平市の豫算五十萬圓弱の誤」は四十五萬圓の誤りに付き訂正する、右報導する

戦地の便り

世界の風雲急に 緊張さらに緊張

平市平窪出身 鈴木守

拜啓、時下向寒の候皆様に御禮なく御精勵由慶賀至極と存じ候、陳省この度郷土國防婦人會より御鄭重なる御慰問袋並びに激勵文を戴き厚く御禮申上候。今や世界の風雲次第に急を告げ、日本舉つて奮闘の秋を示し緊張さらに緊張を要する次第に相成り不肖の我れ等にも微力ながら國家に御奉公の覺悟に拍車し任務挨拶まで、 敬白

奮闘を御誓ひ申上候

平市平窪出身 牛久富夫

拜啓、晩秋の候愈々御慶賀奉賀上候、小兵出征の際に萬端御高配に預り厚く御禮申上候、今回はまた多大の御慰問品並に御丁寧なる御慰問文下され萬謝奉り候、珍らしき品々職友等と賞味

鈴木伍長 曹長に昇進

留守宅の喜び

嚴冬の滿洲視察より

第四信の四 志田生

歸還隊勇士 静岡へ義金

平窪で車窓から

興亞の礎

石城出身勇士

平商校静岡へ

平商業學校の職員生徒一同は

思ひまゝに

大森 勇

出るまゝに

大森 勇

川西次郎氏は今回金百圓を同町の統後會へ寄附した

確保に活躍中であるが勤八等に輝く披群の働きから今回曹長に昇進、勤七等を拜受せる旨留守宅に喜びの通知があつた、同君の實家には妻秀子さん(三)さんと父重次郎(五)氏母子(五)さんの外弟妹四人が田畑の耕耘から野菜の行商で留守宅を協力し村の勤勞率任等をも辭退してゐる

昨五日午後三時平窪通過の〇〇隊の〇〇部隊歸還の一勇士が車窓から新聞紙に包んだものを送迎者に静岡へ送つてくれと託されたので開けて見ると金六圓の火災見舞金なので直ちに市役所に寄託したが此の奇特な勇士は前記〇〇部隊歸還隊の鈴木與市氏と云ふ氏名だけは判つた

進んだ事が幾度あつたらう。炎熱の日もあつたらうし、酷寒の日もあつたらう。食はぬ日も飲まぬ日もあつたらう。重擔の中に眠つた夜は無数あるであらう。この世に於ける支那各地に轉戦すること二十年、遂に身に十數創を負ふて、戦友を戦場に殘したのであらう。そして看護婦に助けられて半身起き上つて、敵前上陸を急いだのだらう。ものは緒よりも美しい瀬戸内

海は風光なのである。あゝ瀬戸内海かあれから二年になる。なと云はれた時の勇士の聲の表情は、如何なる音楽も書き得ざる崇高なものであつた。私は歸還してからの夕など、訪るゝ人のなき儘つくねんと一人机の前に座つてると、何時しかあの勇士の姿が私の頭の中に浮んで来る。勇士はあれから如何なる快癒して、村の若者共を集めて、數々の武勳物語つてゐるのか。

石城郡湯本町の三兩居住無職の寡婦田村ちよ(五)は昨五日午前十時頃同町寶海地内小野田炭鑛専用線踏切に於て強度の墜落のため折柄暴進の石炭列車にはね飛ばされて頭部その他を重傷入山病院に入院加療中である

石城郡三坂村では戦時下に處する物資の節約に今後は絶対にゴム足袋類を用えず履靴を使用することに聞き合せをなした

專用線に刎ね飛ばされて重傷

炭靴使用申合

木炭配給

平商校静岡へ

興亞の礎

歸還隊勇士

静岡へ義金

石城郡湯本町の三兩居住無職の寡婦田村ちよ(五)は昨五日午前十時頃同町寶海地内小野田炭鑛専用線踏切に於て強度の墜落のため折柄暴進の石炭列車にはね飛ばされて頭部その他を重傷入山病院に入院加療中である

石城郡三坂村では戦時下に處する物資の節約に今後は絶対にゴム足袋類を用えず履靴を使用することに聞き合せをなした

勿來 木炭配給 石城郡勿來町の商業組名では舊正月を迎へるのに一般の木炭不足に對して去る三、四兩日

平商業學校の職員生徒一同は静岡市の大火に對し金二十七圓五十錢の見舞金を贈つた

進んだ事が幾度あつたらう。炎熱の日もあつたらうし、酷寒の日もあつたらう。食はぬ日も飲まぬ日もあつたらう。重擔の中に眠つた夜は無数あるであらう。この世に於ける支那各地に轉戦すること二十年、遂に身に十數創を負ふて、戦友を戦場に殘したのであらう。そして看護婦に助けられて半身起き上つて、敵前上陸を急いだのだらう。ものは緒よりも美しい瀬戸内

海は風光なのである。あゝ瀬戸内海かあれから二年になる。なと云はれた時の勇士の聲の表情は、如何なる音楽も書き得ざる崇高なものであつた。私は歸還してからの夕など、訪るゝ人のなき儘つくねんと一人机の前に座つてると、何時しかあの勇士の姿が私の頭の中に浮んで来る。勇士はあれから如何なる快癒して、村の若者共を集めて、數々の武勳物語つてゐるのか。

石城郡湯本町の三兩居住無職の寡婦田村ちよ(五)は昨五日午前十時頃同町寶海地内小野田炭鑛専用線踏切に於て強度の墜落のため折柄暴進の石炭列車にはね飛ばされて頭部その他を重傷入山病院に入院加療中である

産業方面

難件を突破し

増産目標へ

(4) 農山漁村民にか

けられた大期待

【前】の増産目標は十四年度と同じく九千八百萬貫と決定した、その内訳を云へば基準数量七千九百四十六萬一千餘貫、増産数量は製糸用のもの二千八百二十八萬九千貫、新用途のもの二十五萬貫で農林省に於ては去る一月十一日から三日間にわたり地方農業者主任官を招集する協議会を開いた結果、道府縣の勵行事項として次の諸點をあげ極力増産に努めることとなつたのである。

(1) 施肥の合理化、自給肥料の増産、糞土などの勵行によつて桑園の地力の増進をはかる。

(2) 稚蠶専用の桑園を特設して作柄の不安なきやうにすること。

(3) 遠作共済用の蠶兒および指導用蠶兒の飼育ならびに病害虫に對する防除施設を講じ不測の減産防止につとめること。

(4) 蚕種共同飼育、稚蠶の共同飼育、壯蚕の分配または共同飼育など各種の共同經營組織によつて蚕作の安定と生産費の低減につとめる。

(5) 小兒児童、中學校生徒の勞力利用、勤勞奉仕の徹底及び移動勞力の利用などによつて勞力の供給調整につとめる。

(6) 商賣の改善と繭生産費の低減につとめ産繭収入の

増大をはかること



附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

木村病院

平市新川町 電話一六四番

御婚禮着付 和洋結髪

貸衣裳、貸かつら、を御利用下さい

パマネント・ウエーブ

何卒御用命の程を

手塚美容院

(徒弟入用)

平市新田町

大小の御宴會にホール御家族の御同伴に御座敷いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

肋膜炎、氣管支、關節、神経痛、肺炎、ロイマス

……扁桃腺、中耳炎、骨髄、腰痛、痔疾に……

生公華

濕布で各藥

山野邊藥局

治淋新藥 七〇六號

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

平市田町 電話五二三番



店商屋釜

九九・九電

和洋銅鐵、金物問屋

診療科目

一、齒科一般

保存科、補綴科、鑲嵌工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

二、口腔外科

一、レントゲン科

平市田町(松月堂向ヒ)

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野慈次

主任 佐藤重義

電話五〇九番

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

電話六六九番

入院應需(自炊の便あり)

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士 五十嵐雄二

婦人科

平市新川町(電話二六九番)

類品洋とンバカ



眞砂屋 (前驛、市平) (り通新)

電話五九二番

食卓、喫茶、酒場を兼ねた。

レストラン サロン

平市銀座街

國民精神總動員 日本國民必見の報……

内閣情報部發行

寫眞週報

1部10セン

お取次致して居ります

西村屋藥局